



桜川市長
大塚 秀喜氏

筑波銀行真壁支店長
野澤 浩之

住みたい これからも住み続けたい桜川市の実現

筑波銀行は地域金融機関として、地域の皆さまとの密接な繋がりを持たせていただいております。「支店長のわがまち紹介」は、筑波銀行の支店長が所在エリアの市町村をご紹介させていただくコーナーです。今回は茨城県桜川市です。筑波銀行真壁支店長 野澤浩之が桜川市長 大塚秀喜氏にお話を伺いました。

桜川筑西IC周辺地区の 魅力ある新しいまちづくり

2021年10月の市長選挙にて、市民の皆様の信任を得て、引き続き3期目の市政運営のかじとりを担わせていただくことになりました。

当市では、1995年以降、人口減少が続いています。転入・転出ともに筑西市、つくば市、水戸市の順に多く、またそれぞれの地域で転入よりも転出のほうが多くなっています。

こういった状況を改善していくために最も大切なことは、「住みたい、これからも住み続けたい桜川市の実現」であると、私は考えています。そして、そのための政策を前面に打ち出してきました。

その中でも強力に進めてきたのは、「桜川筑西IC周辺地区開発整備事業」です。北関東自動車道、国道50号バイパス、JR水戸線大和駅に近接するこの地域を、当市の新しい魅力ある暮らしを実現する拠点として整備し、市外からの転入を増やし、市民の市外への転出を減らそうと考えています。

まず、この地区の中心に「さくらがわ地域医療センター」を建設し、2018年10月に開業しました。以降、当市の地域医療の中核機関として順調に運営されています。

現在、この医療センターの東側に約90区画の住宅用地整備を進めています。2022年に第1期の造成工事を行い、分譲を開始する予定です。これに合わせて公園の整備を進めており、2022年秋には、子どもが思いっきり遊べる大型遊具が完成します。また、市内の乗馬クラブと協力して、乗馬体験もできるように整備します。

駅の北側には、元気な中高齢者向けの住宅エリアを作ります。事業者の計画では、84棟の戸建て住宅と45戸のマンション、共用棟を整備することになっています。共用棟には、タニタ食堂メニューのレストラン、看護師による健康相談室、カラオケルームや麻雀部屋、大浴場（温泉）などの施設を設置するとともに、スタッフが24時間常駐して、日常生活やコミュニティ活動をサポートします。

さらに、公園北側の国道50号バイパス沿いには、ショッピングセンターを誘致したい考えです。駅とインターチェンジが近く、病院や公園、商業施設が集積し、子どもから高齢者までが安心して健康的に暮らすことができるまちになると考えています。ここに学校も作ればさらに環境が良くなると思います。

公民館と図書館の融合による 多様な学びと交流の創出

老朽化している旧岩瀬町の公民館が、耐震工事ができないほど劣化していることが分かったため、建替することになりました。

単に公民館を建替するのではなく、岩瀬支所と図書館、公民館の機能を持たせた複合施設を建設することにしました。また、単純に3つの機能を持たせるのではなく、例えば調理室に図書館の料理の本を置くなど、公民館と図書館の機能を「融合」させた、多様な学びを生み出す施設にします。

さらに、カフェを設置するほか、隣接する公園や桜川との動線をつくり、ホールや駐車場ではイベントなどもできるように整備して、市民の憩いの場、多様な交流を促進する場としても活用できるようにします。

じつは、図書館を持たない市は全国に数えるほどしかなく、市民の要望も強かったため、企画から決定までがとてもスムーズに進み、令和4年度に着工する予定です。

(仮称)上曾トンネルの整備による 人流と物流の変革

石岡市と桜川市をつなぐ道路は、幅員狭小で急勾配の山岳道路であるため、大型車両の通行が制限され、また冬季には通行止めになる場合もあり、交通の難所となっています。そこで現在、(仮称)上曾トンネル整備工事が進められており、2025年に開通予定です。

このトンネルが開通すると、県南地域と県西地域が結ばれ、茨城空港までを東西に結ぶ基軸も形成されることから、人流・物流が大きく変化し、地元産業や観光への貢献が期待できます。旧真壁町の市街地を通過することになるので、この流れを地域活性化につなぎたいと思います。また、通勤圏も広がることから、市民の選択肢が増え、人口流出の抑制にもつながることを期待しています。

株式会社カスミとの連携による 買物弱者の支援

2021年9月、株式会社カスミと「買い物支援に関する協定」を締結しました。この協定は、移動販売の実施により、移動手段がなく買い物が困難と感じている市民を支援するとともに、見守り活動を展開することを目的としています。

現在、市が導入した車両をカスミが運用しています。弁当や生鮮食品、飲料など約600品目を積み込み、日曜を除く週6日、市内54か所を巡回しており、大変好評を得ています。





筑波高原キャンプ場(カタクリ)



高峯のヤマザクラ



筑波高原キャンプ場(夜景)



雨巻山のヤマザクラ

株式会社モンベルとの連携による筑波高原キャンプ場の改修

2021年9月、日本のアウトドア総合メーカーの株式会社モンベルと「連携と協力に関する包括協定」を締結しました。この協定に基づく取組の第一弾として、真壁町羽鳥の筑波高原キャンプ場の改修を監修してもらいます。

このキャンプ場の周囲には原生林が残っており、春にはカタクリやニリンソウが咲き、約130種の野鳥が生息し、近くの沢ではサワガニやツクバハコネサンショウウオの姿を見ることができます。また、見晴らしが良く関東平野を一望でき、夜には街の夜景と満天の星空を堪能できます。

キャンプブームが起きている中、東京圏から近いこのキャンプ場も、より多くの方々に利用していただきたいのですが、設備が老朽化しており、ロッジやケビンは利用不能となってしまっています。

そこで、株式会社モンベルに監修していただき、キャンプ場を新しく生まれ変わらせたいと考えています。また、ふもとにあるオフロードバイクの競技場のあたりからキャンプ場までの登山道を整備することも計画しています。

これらの整備が進むと、筑波山登山も含めて様々なアウトドア体験ができるようになり、またアクセスも容易になれば、必ず人気の観光スポットになると思います。

「日本一のヤマザクラの里」をさらに育てる

当市には、約55万本のヤマザクラが自生しており、その数は日本一です。ヤマザクラは市民の誇りとなっており、地元の方々が積極的に山に入り、下草刈りなどの環境整備に取り組んでいます。

2020年度からは、里山の保全のために地域おこし協力隊を2名任用し、市民とともに活動しています。市内の小学生による、山からヤマザクラの種を拾ってきて苗木を育てる活動も、数年前から行ってきました。この苗木が大分育って来たので、中学生に植樹してもらおうと考えています。

当市のヤマザクラは様々な品種があり、開花の時期が異なるため、移り変わりを楽しむことができます。遠くから眺めてよし、歩いて近くで観察してもよしです。観光資源としての活用を強化するため、2022年3月下旬に山を一望できる展望デッキを落成予定です。

筑波銀行に期待すること

桜川筑西IC周辺地区開発整備事業などの大規模事業も、できるだけ市内の業者に委託しています。筑波銀行には、そういった際の資金繰りのアドバイスや資金手当てなどの協力をお願いします。また、「さくらがわ百貨」など地域製品のブランディングにも協力していただいております。今後ともよろしくをお願いします。

(取材日：2021年12月2日)
(写真・図提供：桜川市)



わがまちの産業振興 —桜川市—

このコーナーでは、「支店長のわがまち紹介」で取材させていただいた桜川市の産業振興の取組を紹介させていただきます。

地域商社「株式会社クラセル桜川」(加波山市場)

2021年2月、桜川市と桜川市商工会の出資により、「株式会社クラセル桜川」が設立されました。

同社は、市内で生産される農産物や加工品、工芸品を全国に発信することで、地域にさらなる収益をもたらすことを目的とした「地域商社」です。社名は、「暮らし続けられる・暮らせる桜川市を実現する」という理念のもとに名づけられました。

代表取締役は大塚市長が務め、現在13名のスタッフで、地域商社事業と「加波山市場」の運営に取り組んでいます。

加波山市場は、店舗運営のノウハウを蓄積するための実証店舗で、国道50号沿いの元自動車ディーラーをリノベーションして整備され、市内の農産物や農産加工品、工芸品を販売する売り場と、カフェコーナーで構成されています。

売り場には、地元の農家が毎朝出荷する多種多様な季節の農産物や農産加工品、地酒や石材加工品などがずらりと並び、その大半が桜川市産です。山の幸が多いのも特徴となっています。

カフェコーナーでは、桜川市産の美味しいお米と野菜たっぷりスープのランチや、同市産の果物を使用した季節限定のオリジナルスイーツなどを味わうことができます。

また、加波山市場では、首都圏から移住した地域おこし協力隊がスタッフとして配属されており、売り場の企画運営やランチメニュー開発などで活躍しています。

大塚市長は、「加波山市場に行くと、こんなに地元のものがあるんだと改めて思う。これも当市の魅力。市外や県外の方々への発信も重要だが、ぜひ市内の子どもたちに知ってほしい。」と語っています。

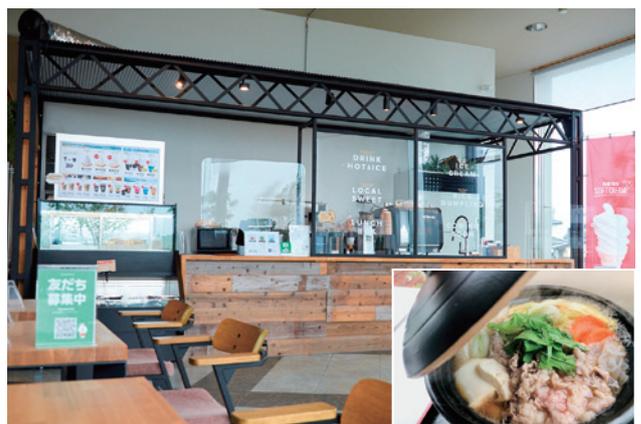
また、「この広さでは品物が置ききれない。経営を軌道に乗せて、もっと大きな店舗で運営したい。」「北関東自動車道の通る地の利を活かして、新鮮な海産物も並べたい。そうすれば、栃木県などからも人が来て賑わうのではないか。」と、将来を見据えています。



自動車ディーラーを改装した店舗



木をふんだんに使ったお洒落な店内



冬場はあつあつのランチも食べられるカフェ

加波山市場

所在地：茨城県桜川市鍛田527-1

連絡先：0296-71-6831

営業時間：9:00～18:00

※年末年始は休業または営業時間の変更があります

(写真提供：桜川市)